

砂名の ベトナムに乾杯



第34回 区切を付けてリスタートに加速、^{しおどき}潮時の到来

2015年10月末にプレオープン、およそ7年間続いたレタントンヘムの角打ち【日本酒で乾杯!】は、9月27日をもちまして、ファンビッチャンの【蔵 KURA】Kaku-Uchi & SAKE Shop に吸収合併いたしました。この号が出る頃には角打ち【日本酒で乾杯!】はなくなり、スタッフは全員、【蔵 KURA】に移っております。

そもそも【蔵 KURA】は角打ち【日本酒で乾杯!】の2号店という位置づけではなく、最初に「角打ち」をスタートさせて、次に「角打ちのある酒屋」を立ち上げる事業計画でしたので、いずれ角打ち【日本酒で乾杯!】は【蔵 KURA】に集約するつもりでした。それがいつになるのか。「チャンスは向こうからやって来る」の逆バージョン、「クローズするタイミング」も向こうからやって来て、前倒しになった感があります。

コロナ禍のロックダウンで半年近くも閉めていた古い店舗は、しばらく無人になったことで、室内・設備の老朽化が一気に進んでしまいました。改修したり設備の買い替えなど一旦は検討したのですが、こちらあたりが潮時かな? と思っていた矢先。契約ごとの終了と重なり、【蔵 KURA】に吸収合併することにいたしました。またレタントンヘム周辺が、店をオープンした頃よりずいぶん賑やかになったものの、すっかり雰囲気が変わってしまって、女性客の客足が遠のいたこと。常連のお客様の急な帰任など、さまざまな要



角打ち【日本酒で乾杯!】は、ベトナム初の立ち飲みタイプの角打ちでした。さようなら。そしてありがとうございました!

因も重なっています。7年の間、一時帰国や仕事の都合で臨時休業した以外に、自身の体調不良で店を休んだことはなく、営業を続けてきましたが(一日だけ、香港で風邪を引いてしまい9時で閉めさせていただいたことがありました)。最後の数年は、サポートしてくれたスタッフの皆さんのおかげで、続けることができました。定期的で開催してきたイベントはいつも盛況で、2019年のフーコック島一泊二日の日本酒イベントはとても楽しい思い出となりました。またお客様同士仲が良く、ほとんどの方が帰任されましたが、今でも日本で繋がっておられます。

この場をお借りして、心から感謝申し上げます。ありがとうございました!

さて。スタッフは全員、【蔵 KURA】で仕事を続けることを快諾してくれ、今年初頭からくすぶっていた、税務関係のことや銀行システムの変更など、数々の

事務的な課題も、一つずつ解決してきました。

それらのことが一段落した先月のことです。仕事を整理し、不要になった書類の束をメモ用紙として使うため、ハサミで切ろうとしたとき。なぜか一枚がはらりと落ちました。それは2019年9月に作成した「角打ちのある小売店(酒屋)」の販売戦略という、A4一枚のエクセル表でした。ちょうど3年前ですね。【蔵 KURA】Kaku-Uchi & SAKE Shop はまだ、影も形もなかった頃です。そこには、コロナ前に計画していた多くの取組みについて綿密に書かれており、ハッと我に返りました。コロナのダメージばかりに気を取られ、売り上げの減少、空家賃や人件費を払い続けて底をついた資金、人手は足らず、この先、大丈夫なのか……そんなことにフォーカスしてはダメだ! と、3年前の自分に叱咤激励された思いでした。

さあ、一局全集中でまいりましょう!



月森砂名(つきもりさな)

奈良県出身。同志社大学卒業。2015年、ベトナム初の角打ち【日本酒で乾杯!】に続き、2020年、Pham Viet Chanh にて日本酒専門の「角打ちのある酒屋」【蔵 KURA】をオープン。経営に携わる。東京で舞台撮影や制作の仕事をする傍ら、作家活動を行う。2009年よりNPO法人 Layer Box にて、日本の伝統文化について、大学、高校、専門学校とともに、PV、3D、CGなどのコンテンツ制作および世界発信を行う。